

城陽市障がい者自立支援協議会

第 20 回 サービス調整検討部会報告書

平成 27 年 10 月 16 日

報告者 部会長 障害者生活支援センターはーもにい 小関 徹史

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 27 年 9 月 4 日 (金)
場 所	城陽市福祉センター
出 席 者	城陽市障害福祉課、障害者支援施設あんどびしゃ、城陽作業所、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、指定居宅介護事業所ちゃれんじ、ものづくりスペースみんななかま、ヘルパーステーションスイート、ヘルパーステーションそらいろ、南京都病院（療育指導室）、朔日の会、ワークショップ野の花、!-factory、ホームヘルプステーションゆう、在宅福祉支援センター、身体障害者デイサービスセンターすいんぐ、知的障害者デイサービスセンターあつぷ、障害者生活支援センターはーもにい

各事業所の紹介

参画事業所の数も増え、今一度、他の事業所の特色を確認する。

課題の絞り込み

○意見交換

- ・課題を絞り込むにしても、事業所レベルなのか、市町村レベルなのか整理しないといけない。
- ・課題はケースでと思っている。これまで児童のサービスが無い、グループホームが無いという課題があり作らないと、と整理できたから課題になった。
- ・城陽市の中の課題を挙げると、スキル不足、計画で事業が成り立たない、入院した時の支援、医療的ケア、地域移行・地域定着あたりが課題か。
- ・制度化ばかりするものではないという事をわかっておく必要がある。

まとめ

事業所の紹介では、事前に案内用のパンフレットを提出してもらい、それを元に代表の方に自事業所の特徴や人数などを紹介してもらった。普段はあまり関わる事のない事業所同士でも、同じ城陽市内でどういった業務を行っているのか、お互いを知ってもらえるように交流を深めた形になった。課題の絞り込みについては、もう少し内容を具体的に部会長から提案するべきだと言う声が挙がり、次回の会議までにどういった内容をテーマにするのかといった所を部会長から改めて連絡し、次回開催に向かう。

以上